

令和8年度牧之原市立相良中学校 学校評価

校長名 竹下 知行

1 昨年度までの成果○と課題・

<ul style="list-style-type: none"> ○ 素直で、明るく、優しい生徒であり、基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。 ○ 指示されたことに対して、真面目に、一生懸命取り組むことができる。 ・自ら進んで考えたり行動を起こしたりする力（主体性）に欠ける。 ・何か壁に突き当たったとき、その壁をはねのけたり、乗り越えたり、かわしたりする力（たくましさ：強さ、しなやかさ・柔軟性、レジリエンス）に欠ける。
--

2 本年度の基本方針（経営の重点）

<ol style="list-style-type: none"> 1 【授業づくり】「主体的・対話的で深い学び」における、「深い学び」の手立てを明確にした授業実践 2 【生徒指導】「子どものよさ」を見つけ、引き出し、価値付け、広めていくことを基盤とした生徒理解と保護者理解 3 【小中一貫教育】つながることのよさを感じられる小中の連携 4 【地域連携】学校、家庭、地域社会が連携し、地域を愛する心を育てるとともに、地域に愛され、信頼される学校づくり
--

3 具体的な取組

目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果○と課題・
<p>1 【授業づくり】 「学校教育の中心は『授業』である」という基本理念のもと、自ら追究し、共に学び合おうとする力を育てることで、学ぶことが楽しいと実感する生徒を増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教科指導のプロを目指し、「主体的・対話的で深い学び」における、「深い学び」の手立てを明確にした授業を実践する。 ○研修テーマを「自ら学びに向かう生徒の育成」とし、情報活用能力を高めて「つながる授業」の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「自ら考え、進んで授業に取り組んでいるか」（生徒評価 90%以上） ②ICT や生成 AI、情報セミナーによる情報活用能力の向上（スコア差 +10 ポイント） 		
<p>2 【生徒指導】 生徒が、自分らしく生きることができるよう、自発的・主体的に発達・成長し、誰もが笑顔で生き生きと活躍できるための生徒指導の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○発達支持的生徒指導の教育観・指導観を生かし、「生徒の輝き（よさや可能性）」を見つけ、広める。 ○OSC や SSW、外部機関等を活用して、特別な支援を要する生徒とその保護者への継続的支援を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「学校に来ることは楽しいか」（生徒評価 95%以上） ②「先生は、あなたのよさや頑張りを認めてくれるか」（生徒評価 95%以上） 		
<p>3 【小中一貫教育】 9年間のつながりを意識した相良地区小中連携事業を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○牧之原市の進めるキャリア教育（起郷家教育）を軸とした小中一貫教育の取組として、『きごうか』『命と防災（1年生）』『仕事と価値創造（2、3年生）』を推進する。 ○小中教職員合同研修、小中学校児童・生徒間の交流活動を行う。 ○義務教育学校に向けた部会を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①担当学年を中心とした総合的な学習の時間の実施 ②小中合同研修会 年2回 ③小中特別支援学級交流 年1回以上 		
<p>4 【地域連携】 学校、家庭、地域社会が連携し、愛され信頼される学校をつくるとともに、相良のまちを愛する心を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会を機能させたコミュニティ・スクールの推進に努める。 ○生徒自らが積極的に地域へ出かけ、地域との関わりを深める。 ○HP や学校便りなどを通して、本校の教育活動やよさを情報発信する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「相良中には、信頼できる教職員がいるか」（保護者評価 90%以上） ②地域ボランティア参加 全校生徒の1割以上 ③HP 月3回以上更新 ④学校便り 年8号以上発行 		